

●●●社協だより●●●

# ふくしのまち福岡 137

2025年・秋号

NO.

早良区版



社会福祉法人福岡市社会福祉協議会  
早良区社協事務所(早良区社会福祉協議会)  
福岡市早良区百道1-1-1 UMIBE BLD.1階  
TEL: 092-832-7383 FAX: 092-832-7382  
Eメール: sawaraku@fukuoka-shakyo.or.jp

福岡市社会福祉協議会  
マスコットキャラクター  
ここと



## 顔の見える関係性が地域の防災力に

### 百道校区 安否確認訓練を実施しました

百道校区社協では、災害時に備えて「避難行動要支援者名簿(※1)」に登録された方を対象とした安否確認訓練を実施しました。

今回の安否確認訓練は、ふれあいネットワーク研修で行なった災害図上訓練(DIG訓練)(※2)をきっかけに実施されたものです。

当日は校区社協、自治連合会、民生委員・児童委員、防災防犯会、男女共同参画協議会、公民館の協力のもと、福岡市が作成した防災ミニブックや非常食を配付しながら、安否確認を行ないました。訓練終了後には、車いす体験や防災についての講話を実施し、学びを深めることができました。

避難行動要支援者(以下、「要支援者」)を訪問し、安否確認と災害時に不安なことの聞き取りを行なったことで、要支援者との関わり方や、具体的な支援方法について確認することができました。参加者からは「要支援者と直接話ができるって良かった」「防災意識が一層高まった」「今後も継続してほしい」といった前向きな声が数多く寄せられました。

今回は、要支援者と直接顔を合わせることができただけでなく、地域の支援者同士も互いの顔を知り、横のつながりを深める貴重な機会になりました。

百道校区社協の友永敬子会長は、「今回の訓練の経験を活かし、災害時だけでなく、日頃から助け合えるような関係づくりに取り組んでいきたい」と、今後に向けて意気込みを語られました。



▲防災講話の様子

(※1) 避難行動要支援者名簿とは

自ら避難することが困難で、円滑・迅速な避難の確保するために特に支援を要する人の情報を載せた名簿

(※2) 災害図上訓練(DIG訓練)とは

地図を使って地域の災害リスクを具体的にイメージし、防災力を高める訓練

## ふれあいネットワーク活動から生まれた防災のカタチ 早良校区 ～災害図上訓練の実践～

早良校区では、災害発生時に備えた「災害図上訓練(DIG訓練)」を実施しました。

校区社協の福澤幸子会長は、「訓練の冒頭で「日々のネットワーク活動の中で、災害が発生した際、自分には何ができるのかを度々考えてきました。非常時の具体的な取組みの必要性を感じ、今回の訓練を計画しました」と、訓練にかけた思いを参加者に伝えました。

訓練では、早良消防署・東入部出張所と地元消防団の指導のもと、各町内に分かれて地図を囲み、避難ルートや危険な場所を確認しました。さらに、避難行動要支援者名簿に登載されている人々を事前に把握し、どのようにサポートするかについて熱心に意見交換が行なわれました。

訓練終了後は、環境衛生連合会・ふるさと創生女性サミットの皆さんと、防災食の試食会と、ストック方法についての説明を行ないました。ポリ袋を使った調理方法や、青汁やサプリメントをストックしておくことで野菜不足を解消できるという説明を聞き、「役に立つ情報をもらえて良かった」と、参加者には大変好評でした。

DIG訓練を通じて、地域住民同士のつながりや、災害時に備えたふれあいネットワーク活動の重要性を再認識する貴重な機会となりました。



▲DIG訓練の様子



▲防災食講座の様子

原西×脇山

## 地域活動の発展・継続を目指して 第1回よかまち研修会を開催しました

原西校区では、町内の役員交代が頻繁に行なわれることもあり、地域活動やふれあいネットワーク(見守り)活動の継続が難しいことが課題でした。

そこで、新体制になってもスムーズに活動を始められるよう、今年度は役員の交代のタイミングに合わせて研修会を企画し、令和7年6月に「第1回よかまち研修会」を開催しました。

研修会は2部制で行われ、第1部では、脇山校区社協の重松重興会長をはじめとする3名の役員の方々をお招きし、脇山校区独自の「ふれあいネットワーク活動マニュアル」をもとにご講話いただきました。脇山校区の実践的な取組みを学ぶことで、原西校区の活動を見直す良い機会となりました。

第2部では、町内の集まりやふれあいサロンなどでも気軽に実践できるように、白十字病院の方を講師にお招きし、参加者全員で「コグニサイズ」(認知症予防体操)を体験しました。

研修会終了後、参加者からは「自分の町内でも役立てたい」「見守りの重要性を再認識できた」といった感想が寄せられました。

原西校区と脇山校区は、それぞれ早良区の中部と南部に位置し、地域性も異なりますが、校区の垣根を越えた貴重な交流の場にもなりました。



▲講話を熱心に聴く参加者



この広報紙は共同募金配分金及び賛助会費を主な財源として作成しております。